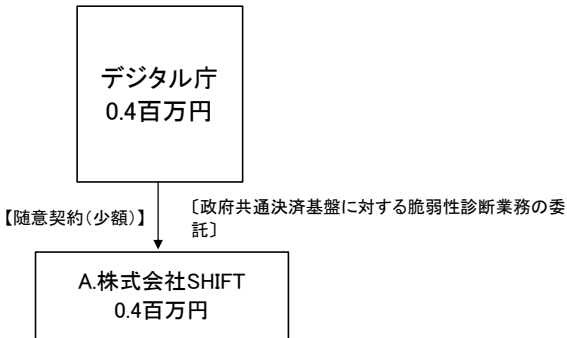


令和5年度行政事業レビューシート (デジタル庁)							
事業名	政府共通決済基盤			担当部局庁	省庁業務サービスグループ	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	キャッシュレスPJ	企画官 城戸 格	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	デジタル庁設置法第4条第2項第19号			関係する 計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和4年6月7日閣議決定)		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	各府省庁が共通で利用が可能な決済基盤(以下「政府共通決済基盤」という。)を整備することにより、各府省庁におけるキャッシュレス化を効率的・効果的に実施し、国民の利便性の向上及び業務の効率化を図る。さらに、地方公共団体の行政手続についても、政府共通決済基盤を利用したキャッシュレス納付を可能とすることで、国民の利便性の更なる向上を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	国民や事業者の利便性向上の観点から、行政の手続におけるキャッシュレス化が推進されているが、各府省庁が独自にキャッシュレス納付のためのシステムを整備すると、政府全体としてコスト面で最適であるとはいえない。また、支払件数の少ない手続等については、費用対効果の観点から、各府省庁が独自にシステムを整備することは困難であり、キャッシュレス納付の円滑な導入を妨げている。						
事業概要 (5行程度以内)	各府省庁が共通で利用が可能な政府共通決済基盤の整備・運用を行う。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
			/	/	/	-	/
			/	/	/	-	/
			/	/	/	-	/
			/	/	/	-	/
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
執行額(G)	-	-	0.4	/	/		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	/	/		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	/	/		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
				-			
	計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)	政府共通決済基盤を整備・運用し、行政手続のキャッシュレス化を図る各府省に対して決済・納付に関する共通機能を提供する。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	国民の利便性向上等を図ることを目的に、各府省が共通で利用可能な決済基盤を整備する。	決済基盤のアーキテクチャ・要件定義等に係るドキュメントの作成数	活動実績 当初見込み	件	-	-	-	-	-
				件	-	-	-	1	1
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	政府共通決済基盤を整備することにより、各府省のシステムによる利用が促進されるため、アウトプットとして設定した。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	政府共通決済基盤を整備し、各府省のシステムが利用可能とする。	決済基盤の利用システム数	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	2	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	「決済基盤の利用システム数」については、利用する府省との調整を基に把握することが可能であるため、定量的な成果指標として設定した。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
			成果実績						
			目標値						
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	政府共通決済基盤の整備を継続的に実施することにより、各府省のシステムによるさらに利用が促進されるため、アウトプットとして設定した。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度	
	政府共通決済基盤の整備を継続的に実施し、より多くの府省のシステムが利用可能とする。	決済基盤の利用システム数	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	4	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	「決済基盤の利用システム数」については、利用する府省との調整を基に把握することが可能であるため、定量的な成果指標として設定した。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費		政府共通決済基盤に対する脆弱性診断業務の委託	0.4			
計			0.4	計		

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社SHIFT	8010401073462	政府共通決済基盤に対する脆弱性診断業務	0.4	随意契約(少額)			
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	